

就労検討会からの課題・提案

第3回 高知市自立支援協議会

R5.11.21 障がい福祉課

1 令和4年度の活動を通じての課題

(1) 人材確保

- ・求人を出しても人が来ない。
- ・人材定着が難しい（例 賃金の低さから、早期に辞めてしまう。）

(2) 人材育成

- ・小規模なところが多いため、送迎や利用者対応に追われ、人材育成のシステム化まで整っていない。

※システム化

- 年毎にどのようなスキルが必要とされているか計画ができていない。
- 研修内容やOJT等がまとまっていない事業所がある。

1 令和4年度の活動を通じての課題

(3) 送迎

- ・送迎車の運転手が不足している。

 - ↓ 不足していることによって

 - 例 午前のみ, または午後のみ利用者の方の送迎が業務を圧迫している。

- ・移動手段のない利用希望者がいる (移動手段が徒歩・自転車のみの方)

1 令和4年度の活動を通じての課題

(4) 制度関連や実態に即した報酬等の不足

- ・就労したい気持ちが高まっているときに、すぐにサービスの利用ができない。
例 新規で受給者証が発行されるまでの期間：約1か月
- ・就労の事業所で、事業所以外の場で生活の支援をした際の報酬や加算がない。
- ・生活支援の多さから、就Bと生活介護の中間の様なサービスが必要。
例 ノルマにこだわらずに、作業を適宜、行えるところ。

2 令和4年度の活動を通じての提案

人材確保に関して

- ・シルバー人材のような、支援員の登録制を行う。
- ・求人募集の際の必要経費の補助（無料のハローワークやインディードで登録しているところが多い）
- ・事業所の離職率を調べる。
- ・平成30年に就労のサービス管理責任者向けにアンケートを行ったが、一般の支援員の思いや考えを吸い上げていないため、一般の支援員向けに意識調査を行う。
- ・人材確保の取り組みとして、就労の事業所を知ってもらう取り組みを深める（SNSの活用含む）。
- ・学生向けにボランティアを募集する（学生が夏休みの時期に事業所の行事への参加を募集）。

2 令和4年度の活動を通じての提案

送迎に関して

- ・事業所同士の乗り合いでカバーする。

- ※複数の事業所で、お互いの運転手等の出勤状況を確認しながら、不足しているところをカバーする。

3 就労検討会 令和5年度活動計画

- 就労検討会 毎月開催
- 就労のサービス管理責任者・相談支援専門員の意見交換会 令和5年10月18日開催
- 就労定着支援実践報告会 令和6年1月頃開催予定
- 農福連携実践報告会 令和6年2月頃開催予定
- ディーセントワーク委員との意見交換会 令和6年3月までに開催予定
- サビ管ネットワーク検討会 奇数月開催

※現在の西部地域，南部地域に加え，北部地域でもブロック会を立ち上げ予定